



## 2022 年度 JANPU-CBT 実証事業(試行版)

### 【実証校の公募】参加条件

【2022 年度 JANPU-CBT 参加条件】\* 下記①-⑪を満たすことを事前に確認する。

- ①上記 JANPU-CBT 実施日のいずれかに参加できる。複数回・複数日受験はできない。
- ②実証校として決定後、CBT 管理運用責任者が提示する受験者一覧フォーマット(エクセル)に、各実証校で学生 ID 番号(受験者 ID)を取りまとめ・記載・送付できる。CBT 管理運用責任者は学生の個人情報は扱わない(学生の個人情報は入力しない)。各実証校で学生 ID と氏名などの紐づけが必要な場合は、各実証校でデータを管理する。
- ③対象学生(領域実習時期前とし、early exposure などの体験実習は含まない)の原則全員参加が見込める。どの時期の学生が妥当であるかの検討・判断は各実証校がカリキュラムに基づき実施する。
- ④対象学生の ICT 媒体を準備できる。2022 年度 JANPU-CBT はインターネットブラウザを使用する。OS 指定はないが「Microsoft Edge」、「Apple Safari」、「Google Chrome」のいずれかに接続できるように準備する。問題形式は、五選択肢/多選択肢/順次解答 4 連問五選択肢択一形式である。設問が十分に閲覧できる媒体はタブレットもしくは PC であるため、これらを満たす ICT 媒体が確保できることを事前に確認する(スマートフォン画面サイズには対応していない)。
- ⑤対象学生と教職員の ICT スキルを確認できる。CBT 管理運用各実証校責任者や試験監督の教職員や学生が、LMS での試験や確認テストやアンケートなどを実施した経験がある(回答者としての経験がある)。
- ⑥各実証校は教室(試験会場)と実施体制と試験監督を準備できる。対面実施のため各実証校で実施体制を準備する(各実証校の参加学生に応じた実施体制)。
- ⑦インターネット環境を準備できる。1 端末あたり 0.35Mbps~0.5Mbps の帯域が必要となる。画像を利用した問題を再生する場合には、環境により動作が遅くなる可能性がある(試験時間に影響する可能性がある)。インターネット通信料は各自負担となる。インターネット環境は学生人数に対応できる教室を準備(必要時、教室の定員数の半数にネットワークや学内サーバーへの負荷を抑える)。可能な限り事前に、当日想定する教室で、参加学生一斉でのインターネット使用が可能かを確認することが望ましい。
- ⑧ICT 媒体の準備・保守管理は CBT 管理運用各実証校責任者が行う。
- ⑨2022 年度 JANPU-CBT においては、CBT 管理運用責任者は ICT 媒体・インターネット・ICT スキル・実施体制・教室(試験会場)などの不具合などに関する対応は行わない。各実証校での対応となる。
- ⑩2022 年度 JANPU-CBT 実証事業【試行版】の公正な準備と運用のために、遵守事項を確認の上、「管理運用ルール」「CBT 実施要項」に基づき実施できる。
- ⑪2022 年度 JANPU-CBT 実証事業【試行版】の利用状況、利用意向及び利用見込み(以下、「利用状況等」という)を把握するための調査に協力できる。